

理事会議事録

公益社団法人日本グラススキー協会

- 1 会議の種類 平成22年度第3回理事会
- 2 召集年月日 平成22年10月12日
- 3 開催日時 平成22年11月18日(木)15:00~17:00
- 4 開催場所 株式会社アルビオン 本社第一応接室
- 5 理事 総数5名(定足数3名)
出席3名:小林英夫、三島木和晴、藤田洋一
- 6 監事 総数3名 出席2名 井田敏夫、伊藤英明
- 7 議長専任

定刻に至り司会者が開会を宣し、本日の理事会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長として会長小林英夫を満場一致で選任し、議長より挨拶の後、議案の審議に入った。

8 会議の概要

(1) 議事の審議状況及び議案別議決結果

第1号議案 平成22年度事業執行状況について

議長の指名により藤田理事から同案について説明があった。

公1) 普及振興 オフィシャルテスト、検定会等の開催

公2) 育成強化 チルドレン・ジュニア強化事業・公認大会等の開催

公3) 海外協力 FIS会議、チルドレンズキャンプ、ジュニア世界選手権、海外遠征

各事業の執行状況及びその成果の報告。

また事業執行にともなう11月12日までの収支報告(各予算の執行状況)についての説明があった。

小林:未収入金への対応はどの様になっているのか。

藤田:年内に対応いただけるように引続きお願いする。

議案内容に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって承認した。

第2号議案 2013年世界選手権開催について

議長の指名により藤田理事から同案について説明があった。

①2013年世界選手権開催について

藤田:10月には開催会場最終決定の予定でしたが、諸事情により開催地への依頼が遅れている。開催地は七ヶ宿スキー場をお願いしたい。年内に七ヶ宿町、七ヶ宿スキー場((有)はあとリゾート)に正式に依頼したい。

開催概要(案)費用の概算(案)についてご検討をいただきたい。

井田:海外参加国への対応は予算内で可能なのか。

藤田：可能と考えています。

小林：海外選手への開催国負担は。

藤田：日本国内の移動費のみ協会負担。渡航費、滞在費は各国の負担となります。

小林：事務局として今後の予定はどの様に考えているのか。

藤田：年内に七ヶ宿町へ正式依頼。またその際に日本選手強化の一環として

来年度以降(2011・2012年)全日本・宮牌の開催を七ヶ宿に依頼したい。

三島木：継続開催による効果、費用は。

藤田：同一会場で継続開催する事により選手の経験値を上げるとともに、什器消耗品等の費用軽減も期待できる。

井田：各団体よりの開催助成を検討すべき。

藤田：是非ご指導いただきたい。

小林：実行委員会設立等の具体案は。

伊藤：公益認定を受けた後の大きな目標である2013年世界選手権世界選手権日本開催の成功に向けては(8月の理事会でも提案させていただきましたが、)より効率的な組織を立ち上げて活動をスタートさせるべきと考える。

藤田：組織内容を含め七ヶ宿町正式依頼(承諾)後、次回理事会(2月)開催時に改めてご検討いただきたい。

小林：2月理事会は両副会長が出席可能な日程で開催を調整し、世界選手権に向けた組織の具体案を皆さんにも検討いただきたい。

審議の結果12月14日に七ヶ宿町へ小林・三島木・藤田が訪問し、その結果をふまえて2月理事会にて組織形態を含め検討する事となった。

第3号議案 その他について

①SAJよりの顧問派遣について

藤田：(財)全本スキー連盟役員改選が終了したので、今月中には推薦をいただける予定。

確認事項：任期は平成23年度事業終了定時社員総会まで

②事務局体制(移転)について

藤田：所在地の移転には社員総会の承認が必要である為、来年5月開催予定の定時社員総会の議題として提案を行いたい。

議案内容①②に関連しての審議があり審議の結果、満場一致をもって承認した。

*平成23年2月開催第4回理事会日程について

2月下旬にて開催を調整する事と確認した。

以上をもって議案の審議が終了したので、議長が閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証する為、出席理事並びに監事はこれに記名捺印する。

平成 22 年 11 月 18 日

公益社団法人 日本グラススキー協会
第 3 回理事会

代表理事 小林 英夫 印

理 事 三島木和晴 印

理 事 藤田 洋一 印

監 事 井田 敏夫 印

監 事 伊藤 英明 印